

## 総合研究大学院大学海外学生派遣事業 終了報告書

所属 複合科学研究科統計科学専攻  
氏名 白石 友一  
海外派遣先国名 カナダ  
海外派遣先大学名 モントリオール大学  
海外派遣期間 10月1日 ~ 12月15日

### 海外派遣先大学について

派遣先のモントリオール大学の Yoshua Bengio 教授は、学習理論の分野でとても高名な教授であり、数多くの優れた結果を出しております。また、とても忙しいにもかかわらず、学生の面倒もとてもよく見ていて、研究室 Bengio 教授を中心にとってもアットホームな雰囲気を作られていました。部外者である自分にもとても丁寧に接してくださり、研究の哲学や、最新の成果などを惜しみなく教えてくださりました。研究室のみんなもとても優しい方ばかりで、満身に英語を話せない自分をホームパーティーに誘ってくれたり、ボウリングに誘ってくれたり、とても丁寧に接していただきました。モントリオールではマギル大学とモントリオール大学が有名です。マギル大学は都市の中心部にあり洗練された雰囲気であるのに対し、モントリオール大学は山の上にあるので少しのんびりした雰囲気を感じられました。

### 海外派遣前の準備

受け入れ先の教官との連絡はメールで行いました。全く面識はなかったのですが、こちらからメールを差し上げて快く受け入れを許可していただきました。一番悩んだのが住居についてですが、インターネットの掲示板でいくつかめぼしをつけていき、最初の数日だけホテルを取り、その数日で住居を決め、そちらに引越しをしました。

### 海外派遣中の勉学・研究

研究の面では、受け入れ先の教官とディスカッションをしながら研究をするというスタイルでした。受け入れ先の教官の部屋は研究室にとっても近く、また頻繁に研究室に来てくれるために、特にアポイントをとることなくディスカッションに応じていただきました。また、週に一回行われている研究室のメンバーの勉強会にも参加させていただきました。あと、週に一回自分の研究を発表するセミナーがマギル大学と合同で開催されており、そちらにも参加させていただき、自分も一回発表を行いました。

### 海外派遣中に行った勉学・研究以外の活動

土日のうちどちらかは観光に費やすことが多かったです。ちょうど紅葉の時期だったので、有名なメープル街道を見たり、ケベックシティという観光地に出かけたりしました。それ以外にはモントリオールの街をぶらぶら歩いたり、美術館などに足を運んでいました。

### 海外派遣費用について

航空券で約15万円。最初のホテル代で約3万円。住居費は一ヶ月当たり約5万円。そのた生活費などすべてを合わせて、大学で用意された金額50万円を少し超えるくらいでした。

### 海外派遣先での語学状況

語学は苦勞しました。行く前の準備としては、総研大の語学セミナーで外国人の研究者と知り合い、彼と語学交換を2ヶ月行ったのと、NHKラジオ英語講座を聞いたりしていました。やはり、まともにコミュニケーションを取れるレベルには到底達していなかったです。1対1で、相手が気を使ってゆっくり話してくれれば、会話はそれなりに成り立ちましたが、みんなでご飯を食べるときの議論には到底付いていけなかったです。受け入れ教官と

のディスカッションでは、もちろん事前にこちらが言うことを考え準備していくなどの工夫はしましたが、やはり議論が思ってもない方向に進むと、なかなか言いたいことをうまく言えず、教官を困らせてしまうこともありました。

#### 海外派遣先で困ったこと(もしあれば)

アパートはアメリカ人2人組みとシェアだったのですが、彼らは、夜中友達を呼んで夜中まで騒いでいたり、冷蔵庫の食べ物を勝手に食べてしまうなどかなり態度が悪かったです。また、アパートでデジタルカメラを盗まれてしまうという事件も起きました。やはりきちんと研究に打ち込むためには住居面で節約はしないほうがいいと思います。今回自分は利用しなかったのですが、大学が提供しているレジデンスなどの利用をお勧めします。

#### 海外派遣を希望する後輩へアドバイス

海外派遣は、いろいろな手続きをしたり、語学面で不安だったりと億劫に感じる人も多いと思います。やはりそれなりに準備など大変ですが、行って後悔することは絶対ないでしょう。なので、どんどんチャンスを利用して、挑戦することをお勧めします。